

Market Watching

発表日: 2021年3月22日(月)

米長期金利は上昇余地探る展開続く(マーケットウィークリー)

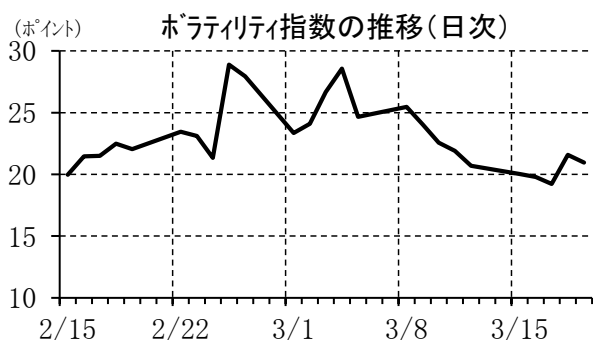
～株式市場は金利上昇に慣れた感も、他市場の不安定化はリスク～

第一生命経済研究所 調査研究本部 経済調査部
取締役・首席エコノミスト 嶋峰 義清 (TEL: 03-5221-4521)

【先週の市場動向】

先週の経済指標・金融政策

発表日	経済指標・会合	結果	コンセンサス	前回	備考
3月15日(月)	日本: 機械受注統計 (1月) ・ 船電除く民需	+1.5%	▲0.4%	+11.8%	前年比
	中国: 鉱工業生産 (1-2月)	+35.1%	+31.6%	+2.8%	前年比
	中国: 小売売上高 (1-2月)	+33.8%	+32.0%	▲3.9%	前年比
	中国: 固定資産投資 (1-2月)	+35.0%	+41.0%	+2.9%	年初来前年比
	米国: NY連銀製造業景気指数 (3月)	+17.4	+13.1	+12.0	ポイント
3月16日(火)	米国: 小売売上高 (2月) ・ 全体	▲3.0%	▲0.2%	+5.3%	前月比
	・ 除自動車	▲2.7%	+0.5%	+5.9%	前月比
	米国: 鉱工業生産指数 (2月)	▲2.2%	+0.6%	+0.9%	前月比
	米国: 企業在庫 (1月)	+0.3%	+0.3%	+0.6%	前年比
3月17日(水)	日本: 貿易統計 (2月) ・ 輸出	▲4.5%	▲0.2%	+6.4%	前年比
	・ 輸入	+11.8%	+12.0%	▲9.5%	前年比
	・ 貿易収支	+2,174	+5,085	▲3,254	億円
	米国: 住宅着工件数 (2月)	142.1	155.5	158.0	万件
	米国: FOMC ・ 上限金利	0.25%	0.25%	0.25%	FF金利
・ 下限金利	0.00%	0.00%	0.00%	FF金利	
3月18日(木)	台湾: 金融政策委員会	1.125%	1.125%	1.125%	公定歩合
	ブラジル: 金融政策委員会	2.75%	2.50%	2.00%	政策金利 (Selic)
	インドネシア: 金融政策決定会合	3.50%	3.50%	3.50%	7日物リバースレボ金利
	トルコ: 金融政策委員会	19.00%	18.00%	17.00%	1週間物レボ金利
	英国: 金融政策決定会合	0.10%	0.10%	0.10%	翌日物貸出金利
	米国: フィラデルフィア連銀製造業景況感指数 (2月)	+51.8	+20.0	+23.1	ポイント
	米国: 新規失業保険申請件数 (3/12終了週)	770	700	712	千件
3月19日(金)	日本: 全国消費者物価指数 (2月) ・ 総合	▲0.4%	▲0.4%	▲0.6%	前年比
	・ 除生鮮食品	▲0.4%	▲0.4%	▲0.6%	前年比
	日本: 日銀金融政策決定会合 ・ 政策金利	▲0.10%	▲0.10%	▲0.10%	日銀当座預金残高金利
・ 10年債利回り操作目標	0.00%	0.00%	0.00%	10年物国債利回り	
3月20日(土)	—				
3月21日(日)	—				



主要市場の動向

	直近値	変化			移動平均値		
		1週前比	1月前比	1年前比	25日	75日	200日
10年債利回り							
米国	1.721	+9.6	+38.5	+58.1	1.478	1.175	0.890
日本	0.115	+0.0	+1.5	+4.0	0.112	0.057	0.035
ドイツ	-0.294	+1.2	+1.1	▲10.1	-0.313	-0.462	-0.489
豪州	1.804	+10.0	+37.1	+31.4	1.654	1.264	1.018
株価							
NYダウ	32627.97	▲0.5	+3.6	+62.4	31881	31047	28940
日経平均	29792.05	+0.2	▲0.8	+80.0	29680	28430	25328
ユーロSTOXX50	3837.02	+0.1	+3.3	+56.4	3750	3635	3420
上海総合	3404.66	▲1.4	▲7.9	+26.0	3525	3506	3368
為替相場							
ドル/円	108.88	▲0.1	+3.3	▲1.7	107.29	105.07	105.47
ユーロ/円	129.62	▲0.5	+1.4	+9.5	128.96	127.25	125.01
豪ドル/円	84.29	▲0.4	+1.6	+32.6	83.48	80.87	77.57
ユーロ/ドル	1.1904	▲0.4	▲1.8	+11.3	1.202	1.211	1.185
商品市況							
WTI	61.42	▲6.4	+3.7	+143.5	62.59	55.03	46.09
金	1741.7	+1.3	▲1.9	+17.7	1746	1821	1860

(注) 10年債利回りの変化は金利差 (bp)。その他は変化率 (%)

為替相場の変化は、ドル/円、ユーロ/円、豪ドル/円は+が円安、▲が円高。

ユーロ/ドルは+がユーロ高、▲がユーロ安。

先週 (3/15~3/19) の金融市場は、注目されていたFOMCにおいて、経済見通しの上方修正に伴って金融政策の転換時期が前倒しされるような見通しとはなっていなかったことや、改めてインフレの持続的な加速のリスクは低いとの見解を受け、市場には安心感が広がった。一方で、最近の長期金利の上昇を容認する姿勢をパウエル議長が示したことで、米金利は一段と上昇する形となった。日本では、日銀がETF買い入れや長期金利の変動目標レンジなどを変更するなど、金融政策のマイナーチェンジを行ったことで、一時市場に動揺が走る場面も見られた。

今週のマーケットは、パウエルFRB議長が「押し返す必要は無い」と述べて事実上上昇を容認したと受け取られた米長期金利が、今後どこまで上昇するのがポイントとなる。FOMC前の時点で、米10年債利回りは昨年末からは約+70bp上昇していた。しかし、FOMC前の段階で実質金利水準に該当する10年インフレ連動債利回りは▲0.7%前後で推移しており、少なくとも景気にブレーキをかけるような水準にはほど遠く、中央銀行が金利上昇を懸念するような姿勢を示すことは、そもそも考えにくかったといえよう (前週末時点では▲0.587%)。とはいえ、これによって米債券市場では居心地の良い金利水準のつかみ所が無くなってしまった。先週発表された経済指標では、2月分の指標は天候要因や1月からの反動などもあって低迷したものの、3月分の景況感指数は予想を上回る改善をみせており、米景気の回復基調はより強まっている姿が窺われる。したがって、ファンダメンタルズからは、米長期金利は今後も上昇傾向を辿っていく公算が大きいといえる。一方で、実質金利水準は低いことに加えて、景気の本格回復=業績の本格回復ということで、株式市場は長期金利の上昇にやや慣れてきた感がある。ただし、その他のリスク性資産市場では、金利の上昇によって不安定化を強めていく可能性もあり、他市場に飛び火するリスクには引き続き注意が必要だろう。

【今週のマーケット環境】

今週の経済指標・金融政策

発表日	経済指標・会合	注目度	コンセンサス	前回	備考
3月22日(月)	米国：中古住宅販売件数 (2月)	★	654	669	万件
3月23日(火)	米国：新築住宅販売件数 (2月)	★	88.5	92.3	万件
3月24日(水)	日本：PMI製造業景気指数 (3月)		—	51.4	ポイント
	PMIサービス業景気指数 (3月)		—	46.3	ポイント
	タイ：金融政策委員会	★	0.50%	0.50%	翌日物レボ金利
	ユーロ：PMI製造業景気指数 (3月)	★★★★	57.8	57.9	ポイント
	PMIサービス業景気指数 (3月)	★★★★	46.0	45.7	ポイント
	米国：製造業受注 (2月) ・耐久財		+0.9%	+3.4%	前月比
	・非国防資本財 (除航空機)	★★	+0.5%	+0.4%	前月比
	米国：PMI製造業景気指数 (3月)	★	59.5	58.6	ポイント
3月25日(木)	PMIサービス業景気指数 (3月)	★	60.0	59.8	ポイント
	フィリピン：金融政策決定会合	★	2.00%	2.00%	翌日物リバースレボ金利
	米国：実質GDP確定値 (10-12月期)		+4.1%	+4.1%	前期比年率
	米国：新規失業保険申請件数 (3/20終了週)	★★★★	730	770	千件
	南ア：金融政策委員会	★	3.50%	3.50%	平均レボレート
3月26日(金)	インド：金融政策決定会合	★	4.00%	4.00%	銀行翌日物金利
	日本：都区部消費者物価指数 (3月) ・総合		▲0.3%	▲0.3%	前年比
	・除生鮮食品		▲0.2%	▲0.3%	前年比
	英国：小売売上高 (2月) ・除自動車燃料	★	+1.7%	▲8.8%	前月比
	ドイツ：ifo景気動向指数 (3月)	★★	93.2	92.4	ポイント
	米国：個人所得支出統計 (2月) ・実質個人消費	★★	▲1.0%	+2.0%	前月比
	・PCEコアフレート	★★	+1.6%	+1.5%	前年比
3月27日(土)	—				
3月28日(日)	—				

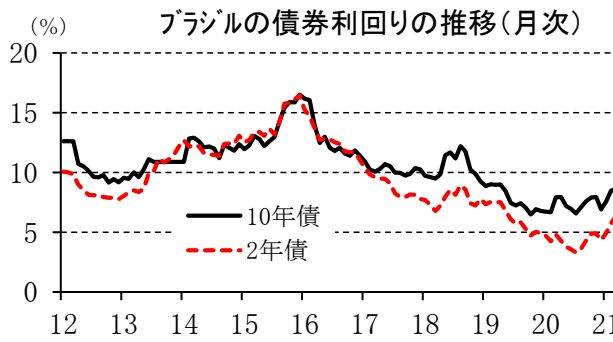
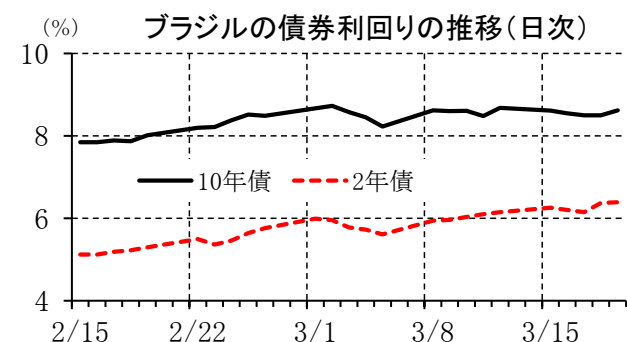
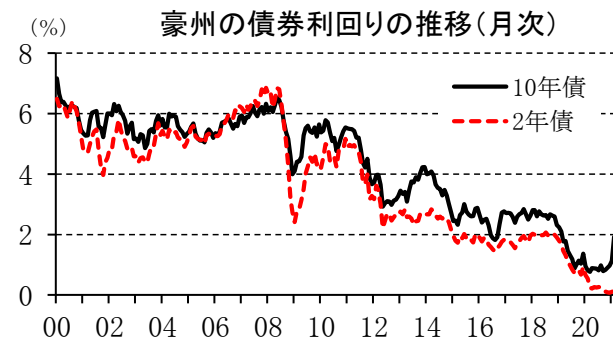
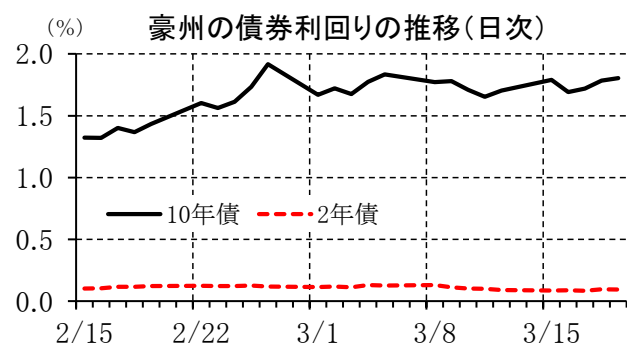
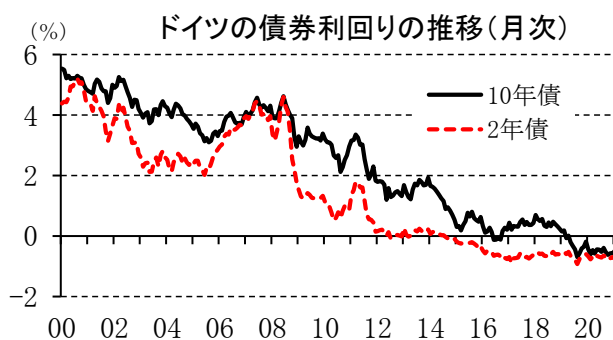
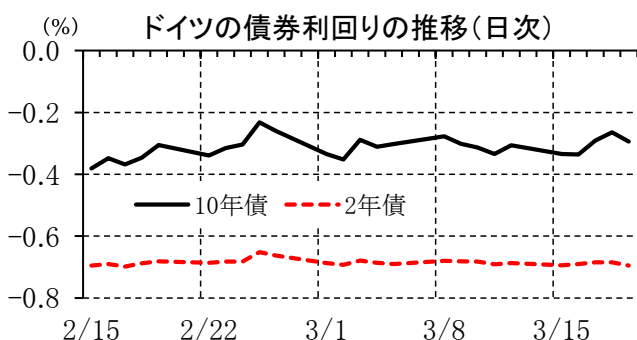
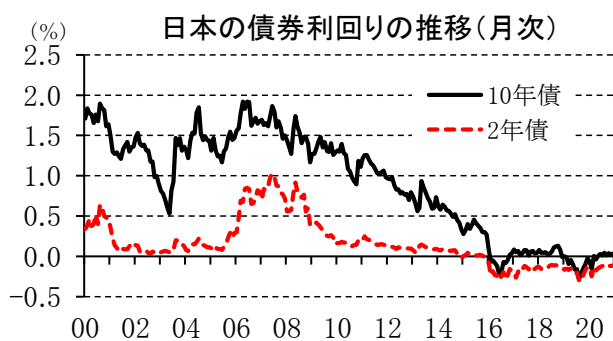
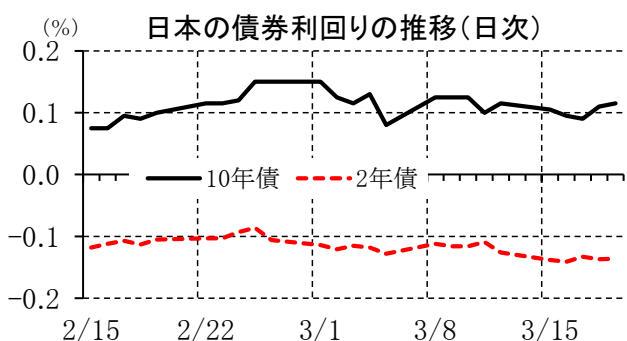
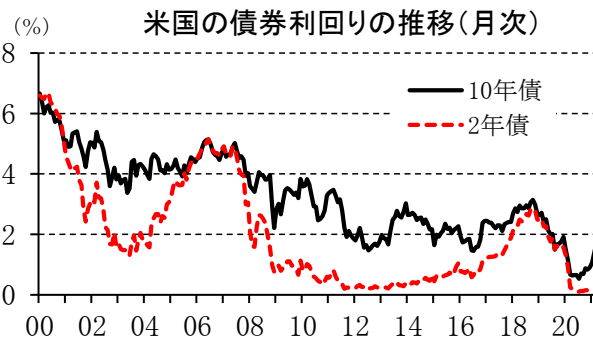
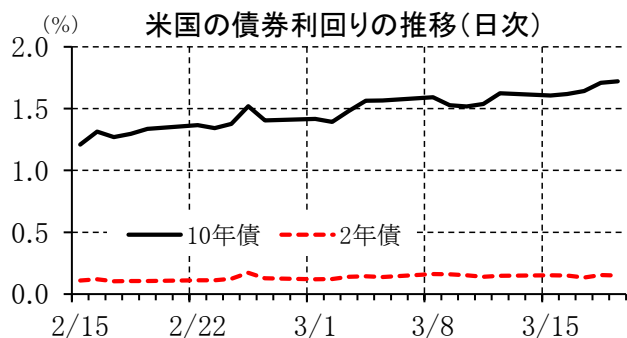
(注) 市場コンセンサスは各種ベンダー調査に基づく。注目度は筆者。

その他の注目イベント・材料

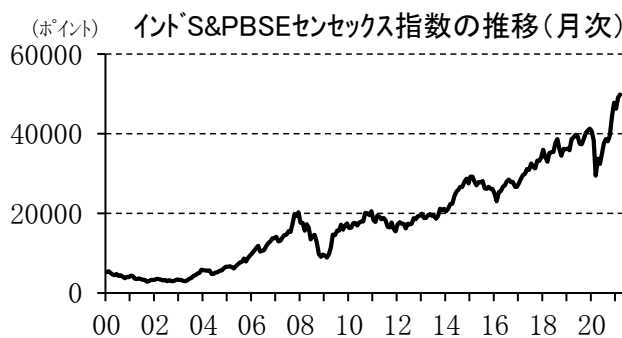
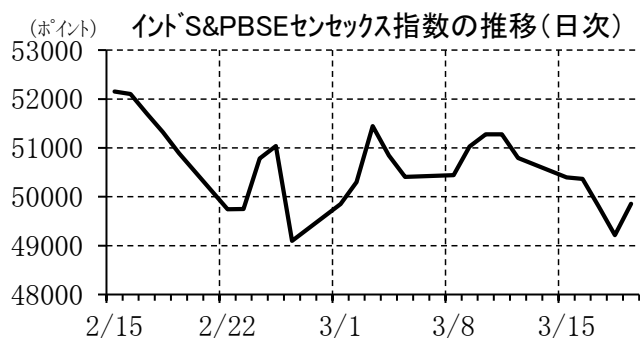
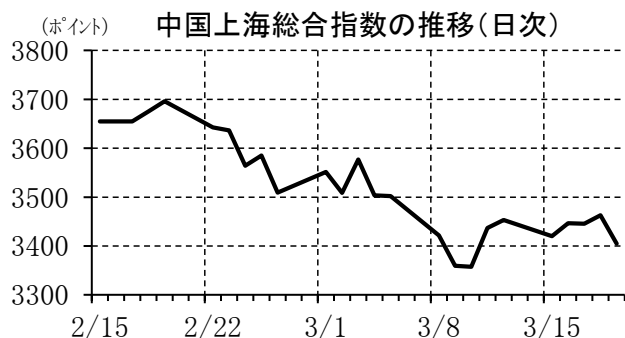
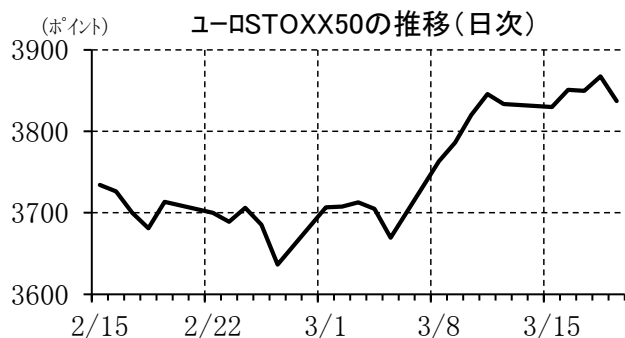
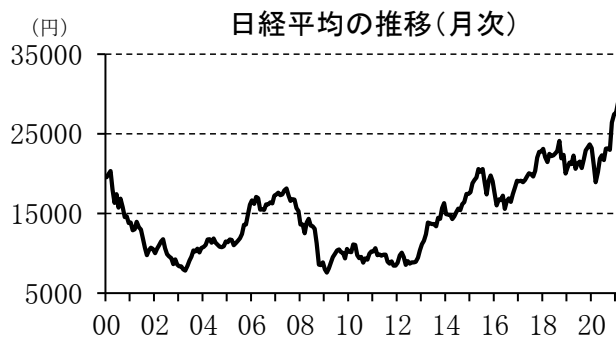
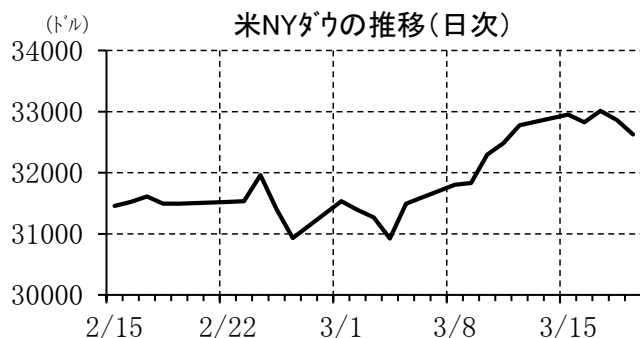
発表日	イベント	注目度	備考
3月22日(月)	米国：パウエルFRB議長BISパネルディスカッションに参加	★	
	ユーロ：シュナベルECB理事講演	★	
3月23日(火)	日本：月例経済報告		
	イスラエル総選挙		
	英国：ヘイリー-BOE総裁講演	★★	
3月24日(水)	日本：日銀金融政策決定会合議事要旨 (1月分)	★	
	米国：FRB議長・財務長官、上院議会証言	★★★★	
	米国：NY連銀総裁講演	★	
3月25日(木)	英国：ヘイリー-BOE総裁講演	★	
	米国：NY連銀総裁講演	★	
	米国：クラリダFRB副議長講演	★	
	EU首脳会議		
	ユーロ：カールトECB総裁講演	★★★★	
	英国：ヘイリー-BOE総裁講演	★	
3月26日(金)	ユーロ：デギントスECB副総裁講演	★	
	—		
3月27日(土)	ユーロ：レーンECB理事講演	★	
3月28日(日)	—		

(注) 各種報道等による。注目度は筆者。

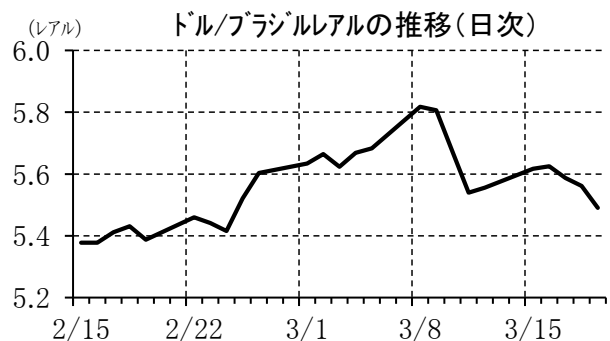
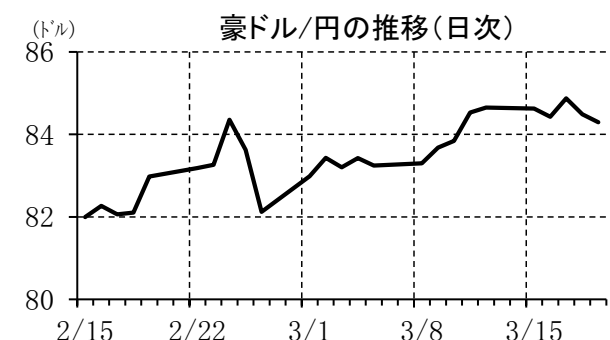
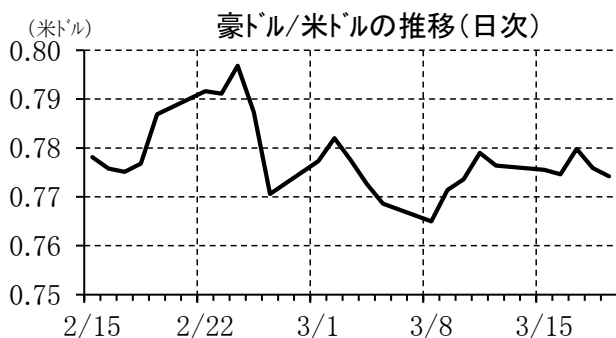
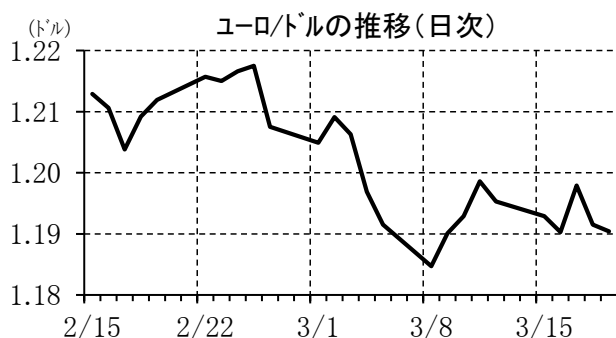
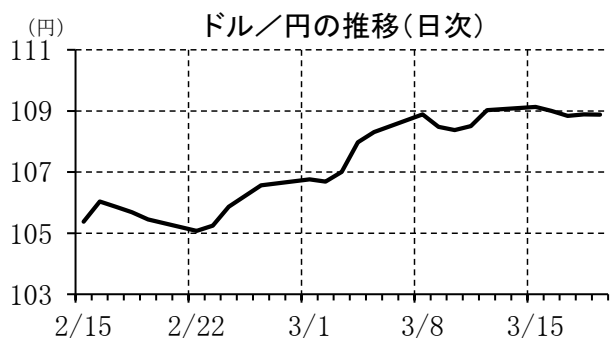
【債券利回り】



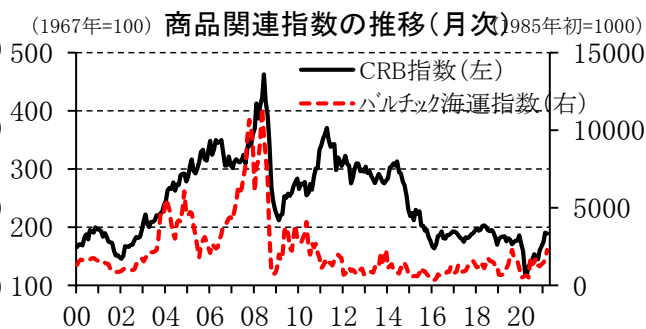
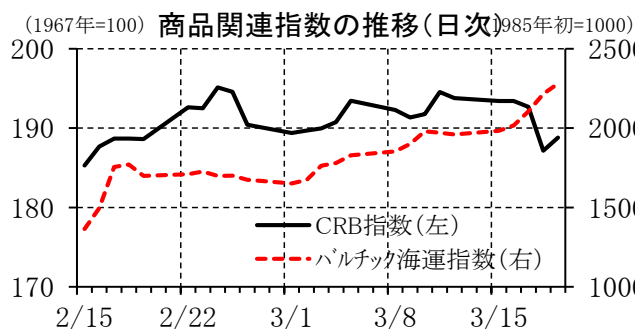
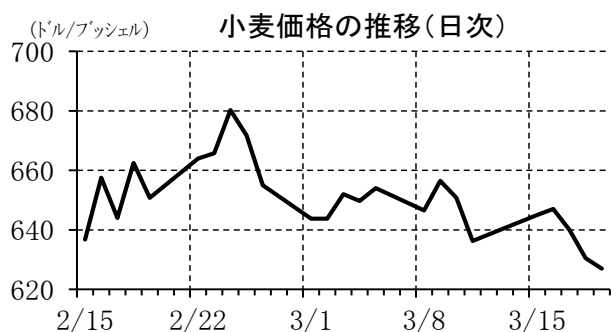
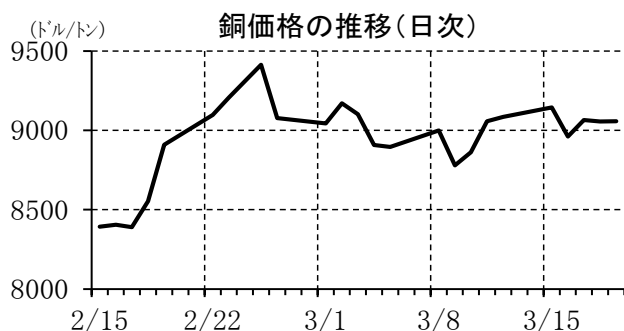
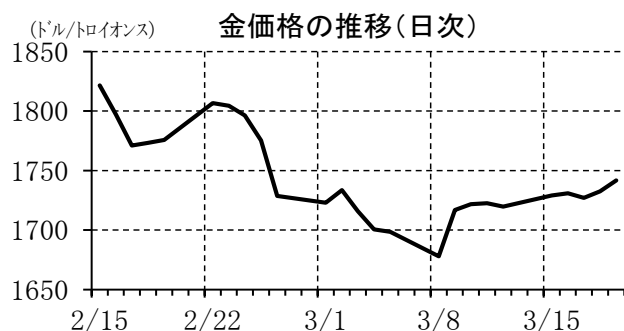
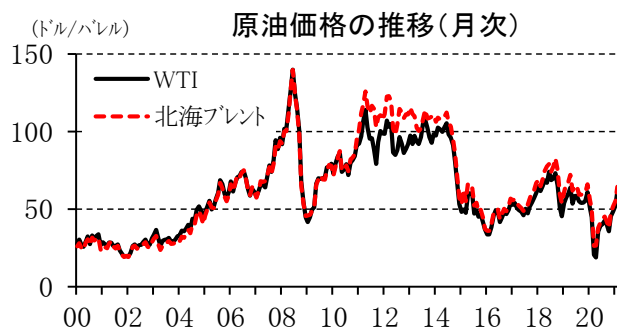
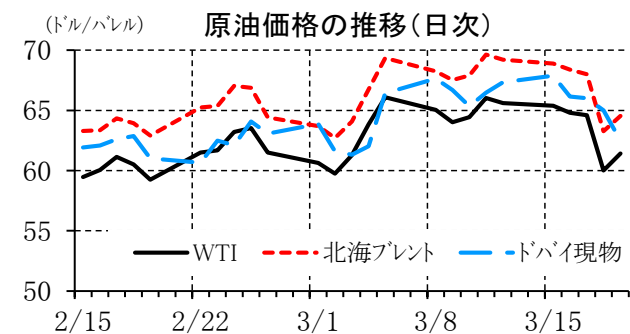
【株価指数】



【為替相場】



【商品市況】



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所調査研究本部経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。